

令和3年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 22件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント	
				H29	H30	R1	R2	R3			R4
東北農政局	青森県	平川市	青森県自然体験ネットワーク推進協議会			●	●	● ■		B	事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が低調となっているものの、コロナ禍の影響により宿泊客を受け入れ出来ない状況下で、協議会と地元ツアー会社が協力し、近隣地区の新たな顧客を創出するマイクロツーリズムの受入体制を整えたことは評価できる。今後、移動制限が緩和され、宿泊客を受入できるようになれば、これまでの取組状況及び実施体制を鑑みてビジネスとして継続できる体制は整っている。以上からB評価とした。
東北農政局	青森県	田子町	田子町「環十和田湖Gateway構想」推進協議会 田子町			● ★	● ★	● ■ ◆		B	コロナ禍において、町外から人を呼び込むプログラムやワークショップなどは、ほぼ全てを中止したものの、予備調査や町内調整、協力者の募集や育成、コロナ禍でも実現可能なプログラムはおおむねできている。アフターコロナで、再開する予定の取組が実施され地域の売上高、宿泊者数が向上するような活動が継続していくことを期待したい。そのためにも、グリーンツーリズム受入予定農家との協議も早期に開始する必要がある。 民俗資料館の改修を行い、令和3年度に供用したものの、当初目論んでいたインフォメーションセンターの迎賓館的機能について、本格的に機能しなかったこともあり、売上高及び宿泊者数について施設単独で実績が低調であった。
東北農政局	青森県	今別町	いまべつ町荒馬の里づくり協議会					● ○ □		C	事業実績の売上高の達成率が低調なっているためC評価となる。 コロナ禍の影響及び施設整備計画の廃止により、中々実績が上げられない状況に思える。令和4年度以降は新しく設立した新法人を中心に実績値が上がっていくことに期待したい。また、地区内外へのウェブや紙ベースでの情報発信を行っており、次年度以降に向けた準備が進んだことは評価できる。
東北農政局	岩手県	紫波町	紫波ツーリズム協議会			●	●	● ■		A	実績値は良好であり、コロナ禍の影響下、規模を縮小しながらも令和4年度からの本格稼働に向けて計画どおり取組が実施されていること、中核法人を中心に「宿泊」「食事」「体験」の提供体制が作られており、発展的に取組を進めていることは評価できる。また、教育旅行、一般客、インバウンドの受入を進めており優良な取組として評価できる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階							評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
東北農政局	岩手県	大船渡市	崎浜ヤンキーブランド実行委員会						●	○ □	A	計画した取組は予定どおり実施されており、立ち上げ段階の目標値をクリアしている。次年度以降は目標値が高まるため、受入体制を十分に整え、ビジネスとして継続していくために、実績を伴った取組に発展していくことを期待したい。
東北農政局	宮城県	気仙沼市	気仙沼ヘルスツーリズム協議会			●	●	●	■		B	定期的な関係者会議の実施を行った。それにより、地域内での連携と受入体制の強化が図れた。人材育成として感染症対策を含む安全対策研修を実施、併せて民泊開業に向けた個別相談を行った。モニターツアーの開催、バイヤー見学会の開催及びプロモーション事業として旅行会社とのオンライン商談会も実施した。協議会の法人化が果たされた。事業実績も踏まえるとおおむね目標の達成に必要な取組が行われている。
東北農政局	宮城県	松島町	松島手樽を元気にする協議会 (一般社団法人 松島のかぜ)			★	★	◆			A	実績値は良好であり、本事業による整備施設への来訪者数は目標を大きく達成しており、整備施設を中心としたモデルイベントの継続した取組、ワーケーション等の新たな展開も加わっていることは評価したい。また、官民連携や地域住民を巻き込んだ取組、広報ツールを活用した情報発信等により、来訪者が増加していることは優良な取組が進んでいるとして評価できる。
東北農政局	宮城県	東松島市	東松島農水泊推進協議会				●	●	■		A	取組状況、事業実績、実施体制が優良のため総合評価もAとなる。 インバウンドの体制づくり、海外旅行会社へのバーチャルセミナー開催により、国外向けの受入準備が進んでいることにより、アフターコロナでインバウンドが再開に合わせて訪問客が増加し、地域の売上がより向上することを期待したい。
東北農政局	宮城県	大郷町	株式会社おおさと地域振興公社				●	●	■		B	食事メニューのブラッシュアップ、メニュー数の拡大と広報、情報発信、プロモーション、日帰りツアーの体験コンテンツを確立したものの、売上高や延べ宿泊者数が増加していない。一方で、公社の活動拠点の「パストラル縁の郷」においてホームページのリニューアルによる農泊の取組を含む地域の魅力発信の取組がなされたこと、日帰りツアーの参加者においては食事、体験による日帰り以外の利用形態による縁の郷内の宿泊施設の利用増進の機会が創出されたことにより、おおむね目標の達成に必要な取組は行われている。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階							評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
東北農政局	宮城県	石巻市	いしのまきグリーンツーリズム協議会						●	○ □	B	石巻市のまちなかエリアを訪れる観光客を、北上町を中心とする農村エリアへ誘導するため、他エリア(河北、雄勝など)で観光に取り組む事業者とも連携して取組を実施した。取組はコロナ禍、少人数で実施したことにより事業実績は乏しいが、北上町における資源としてホップを確立させたこと、計画どおりに事業実施体制が整備され、役割分担が明確化されていることにより、おおむね目標の達成に必要な取組は行われている。
東北農政局	宮城県	南三陸町	入谷の里山活性化協議会						●	○ □	A	人材育成事業等により、体験フィールド施設や宿泊施設の環境整備に関する課題整理、体験プログラムの再開発に伴う資源調査やプログラム検討、入谷地区の農産物を活用した食メニュー開発、食・滞在・体験等のプログラムへの付加価値の検討が十分に行われた。農泊推進へ一層期待が持てる。
東北農政局	秋田県	横手市	増田地域活性化推進協議会				●	● ■			B	コロナ禍によりツアーの実施ができず、企画の進行は低調であるが、歴史文化に関わるイベントとプロモーションにより、実績値の達成率が良好であることから総合評価をBとした。
東北農政局	秋田県	大館市	大館市まるごと体験推進協議会				★			◇	A	1軒の宿の実績値が低調であったが、コロナ対策のひとつとして理解できる内容であると判断した。 施設整備も進んでおり、集客に対してもコロナ禍の中でできることを考えた工夫がみられる。 達成率からも総合判断をAとした。
東北農政局	秋田県	由利本荘市	秋田鳥海山麓矢島活性化推進協議会				●	● ■			A	ある程度高い宿泊者数の目標数字に対して達成率が優良であること、体験プログラムの受け入れ数は低調だが、プログラム数が目標値に対して大幅に達成しており、やる気を感じられることから総合評価をAとした。コロナ禍が落ち着けばもっと伸びる可能性を感じる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント		
				H29	H30	R1	R2	R3	R4			R5	
東北農政局	秋田県	仙北市	一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会				★		◇		B	施設整備の取組はほぼ完了しているようにみえるが、コロナ禍により休業したところもあるとのことで宿泊者目標が1軒以外未達。7軒合計の実績値は優良であるが、達成した1軒が底上げしている状態のため、総合評価をBとした。	
東北農政局	秋田県	能代市	能代白神農泊推進協議会						●	○ □		C	協議会に4軒の宿が所属しているがプログラム参加での宿泊実績が目標になっているため達成率は低調である。 コロナ禍で体験プログラムは作れたが実行ができなかった状況は理解できる。 達成率だけをみて総合評価をCした。
東北農政局	秋田県	大仙市	大仙地域活性化協議会						●	○ □		B	コロナ禍により宿泊ツアーを中止し、プログラムを体験するツアーでの宿泊者を実績としているので達成率は低調であるが、宿泊ツアーから日帰りツアーに切り替えるなど努力が見られることから、総合評価をBとした。
東北農政局	山形県	小国町	小国町農泊推進協議会			●	●	●	■			B	令和2年度にコロナ禍で実施できなかった取組を令和3年度に実施。内容は動画制作による国内プロモーションの強化及び専門家の招へいと外国人を招いてのモニターツアーの取組を実施。このことにより、コロナ以前の目標であった町内でのインバウンドに向けた機運の再度の醸成が図られた。 また、新たな町内の資源として未利用の廃校や醸造所等が発掘できた。モデルツアーの実施のようなアフターコロナを見据えた体制づくりといった必要な取組が行われている。
東北農政局	山形県	白鷹町	白鷹町広域まちづくり協議会 (株式会社 ukitam)			★	★	◆				B	事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が低調となっているものの、コロナ禍の影響により実績が上がらない中、近隣地域を対象にした地域イベントの実施やPR活動を積極的に実施しており、ローカルガストロミーと称した創作フレンチ、着物文化を体験できる着付け体験の受入体制を整えていることは評価できる。 アフターコロナで、整備施設を中心とした、国内外からの訪問客受け入れが進み、地域の売上高が向上することが期待できるため、総合評価をBとした。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階							評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
東北農政局	福島県	郡山市	逢瀬いなか体験交流協議会			●	●	● ■			B	インバウンド前年比、宿泊者数、住民向けイベントの達成率が低調であり、実績値が全体的に低い。コロナ禍によりツアーをリモートツアーに変更するなど努力もみられる。体験メニュー作成、人材育成セミナーなどの取組状況は実施されているため、総合評価をBとした。
東北農政局	福島県	石川町	石川町農泊推進協議会			●	●	● ■			B	インバウンドの受け入れが出来ない中、国内への切り替えを行い、宿泊者数は良好である。地元の農家レストランと企画会社を中心に、推進協議会として旅行会社の登録を検討するなど、前向きの取組が実施されてきたため総合評価をBとした。
東北農政局	福島県	いわき市	いわき市並木通り観光街づくり協議会					●	○ □		B	協議会員でない観光まちづくりビューローがサポートに入ったのは事務局の実施能力がどうなのか不安点が残る。 モニターツアーは実施したが、OTAやAGTとの連携までいけていない。 いわき市が力をいれているサイクルツーリズムであり、今後伸びる期待を込めて総合評価Bとした。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ソフト事業 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)
ハード事業 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) ◇●目標年度(計画) ◆●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A●●優良 B●●良好 C●●低調

令和3年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)
事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業)】 3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5		
東北農政局	岩手県	奥州市	ころもがわ農泊地域協議会			●	○ □		A	取組状況、実施体制が優良であるため総合評価Aとなる。 途中年度の目標値が0のため、実績の評価はしていないが、ターゲットをタイに明確化した上で、インバウンド受入れ再開に向けたハード面の整備や通訳サポートの構築、情報発信インフラ整備を計画どおりに行っており、農泊推進事業完了時に設立された協議会の活動を継続して行っているため一定の評価ができる。目標年度に向けて、実績値を残せる活動になることを期待する。
東北農政局	宮城県	石巻市	牡鹿半島浜泊推進協議会			●	○ □		A	それまで取組が遅れていたインバウンドに情報を伝えるために必須となるホームページや動画の外国語対応を行うなど、アフターコロナを見据えた準備が進んでいると評価できる。 また、フィールドスタディツアーのプログラム開発の取組では、震災復興に取り組む各構成員の活動を紹介する外国語の冊子を制作し、教育機関等が自らツアー内容を選択、検討できる状態としており目標は達成した。
東北農政局	宮城県	松島町	松島手樽を元気にする協議会			●	○ □		A	事業実績は良好であり、拠点である風のマルシェの年間来訪者数は目標を達成しており、モデルイベントの継続した取組、ワークショップといった新たな展開も加わっていることは評価できる。また、官民連携や地域住民を巻き込んだ取組、広報ツールを活用した情報発信等により、来訪者が増加していることは優良な取組が進んでいるとして評価できる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調